

住民登録

12月1日現在

人口 78,397 +36  
前月比  
{男 37,708}  
{女 40,689}  
世帯数 19,245 +28

# 広報 あおだて

No. 150

編集と発行一大館市役所  
発行年月日—昭和45年1月1日  
発行日—毎月1日  
定価1部5円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

## 大館と秋田犬



### <新年のごあいさつ>

8万市民のしあわせを第一に

大館市長 石川芳男



輝かしい新春に当り、市民のご健康とご多幸をお祈り申しあげます。

昨年は、月着陸という人類の夢を実現した世紀の画期的事件をはじめ、沖縄問題の解決、大学問題、米価を中心とする農業の諸問題、そして国会解散など、内外ともにめまぐるしい年でありましたが、そのいづれもが歴史的な意義をもつものばかりがありました。

このような情勢下にあって、わが大館市の施策はどのように進められたかを振りかえってみますに——

まず、第1に

◆御成町2丁目の火災復興事業の急速な進歩、同じく、災害住宅の新築。

◆市道13路線の舗装。

◆継続事業としておりました市立総合病院の完成。

◆県内古町村初めての身障者福祉センターの建設。

◆市民のいこいと、青年の研修の場としての「峠の家」の建設。

◆水道給排水施設の改良および給水区域の拡張。

◆県立老人福祉センター誘致。

◆待望久しかった、東大橋架橋を含む国道7号バイパスの市役所脇までの南北延長を、全額国費をもって施工、ということを取りつけることができたこと、など

これすべて、市民のご理解あるご協力の賜と衷心より感謝しております。

さて、新しい年を迎えて、私はまず、8万市民のしあわせのために、身近な諸問題に意欲的に取り組みたいと存じております。

すなわち、福祉関係 教育関係をはじめ、災害復旧や災害防止に努めると共に、経済の高度成長に伴う多くの問題に対する、生活基盤の向上確立に関する、農林、商工、土木等にも積極的に施策をうち樹てたいと念じておりますので、格段のご支援をお願いする次第です。

ことしの干支は、当市と関心深い犬の年であり、威勢のいい「秋田犬」のように、また、ことしは市制施行20年という記念すべき年にもあたります。

この意義深い年のために、市民の皆さんと共に、郷土の飛やく的發展を祈願いたします。

◆編集と発行一大館市役所  
◆発行年月日—昭和45年1月1日  
◆発行日—毎月1日  
定価1部5円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

## 大館と秋田犬

ことしの干支は「イヌ年」です。名犬秋田犬の生誕地であるわが大館市と、犬との縁は非常に古く、そして深い。

この機会に、大館が世界に誇る秋田犬の歴史についてふれてみよう。

◆秋田犬は、日本の有史以前の犬がもととなり、有史以後いろいろな影響を受け、それに地方的特色をむすびながら改良されて現代にいたったものといわれています。

また、秋田犬は、武士や豪農に番犬、闘犬として飼育されたもので、昔から闘犬熱に刺され大館地方を中心として発達したので「大館犬」とも称せられています。

◆藩主時代の秋田犬=大館城主の佐竹侯は代々闘犬が好きで、闘犬によって武士の闘争心を養ったので、武士階級に闘犬熱が普及した。文化の発達しないこの時代は、秋田犬による闘犬が唯一の楽しみであったようです。

◆明治、大正時代の秋田犬=最も闘犬の盛んな時代で、住民があんまり無中になり、闘犬禁止令もでたこともあったそうです。

とにかく、秋田犬が偉大なからだになった主な原因は闘犬のためであったわけですが、大正に入り、土佐犬の血が入り、新秋田種とまでいわれた闘犬が出来て、非常に秋田犬の純い味が危ぶまれた時代がありました。

◆昭和時代の秋田犬=昭和の初期も、い然として闘犬が盛んであったが、秋田犬古来のものを保存しようという運動が起き、秋田犬の先覚者である故泉茂家氏を中心に純い種保存のため尽力しました。また、このころ渋谷駅の「忠犬ハチ公」(大館産)の主人おもいの話題は、国内はもちろん、海外まで有名になり、純い種保存の向上に大いに力になったものです。

そして、昭和6年7月、その名犬さをかわれ日本犬では初の天然記念物の指定を受けております。

いまでは、大館産の純い秋田犬は(登録犬数約19万頭)国内はもとより、欧米各国の愛犬家のもので、ふるさとを恋いながら、忠犬ハチ公におとらぬ忠臣ぶりを發揮していることでしょう。



大館市議会議長

成田松藏

市民のみなさん、新年あけましておめでとうございます。

今年は戌年にあたりますが、本市にとっては、たいへん縁起が良い年と思っております。それはいうまでもなく、優良秋田犬の本場であり、忠犬ハチ公の生れ故郷でもありますので、大いに戌年にあやかり、黒鉱開発を機軸に、農工商の調和ある地方中堅都市として、飛躍的発展をはかりたいと念じております。

また、市議会は61名というマンモス議会であります。総務財政常任委員会、厚生常任委員会、教育産業常任委員会、建設常任委員会をはじめ、公鉱害対策特別委員会および市民交通対策委員会を構成し、それぞれの所管事項について、市民の意思代表機関として積極的な活動を続け市政の発展に寄与いたしたいと決意をあらたにしておりますので、なお一層のご支援をお願いいたし、年頭のごあいさつとします。

〔2〕 広報おおだて

# 本市“貢正のあらまし”

市民の皆さんが常に関心をお持ちになっている市の台所(財政)は、現在、どのような状態にあるかを知っていただくため、まい年、2回にわたって財政事情の報告を行なっています。

今回は、44年度上半期(44年9月30日現在)の収支状況と、43年度の決算収支状況について、そのあらましをお知らせし、市民の皆さんのご理解を得たいと思います。

43年度一般会計決算は、下記のグラフのように、予算額20億5,964万3,000円であり、歳入19億5,094万2,345円に対して、歳出は20億1,103万3,766円で、差引き6,008万8,022円の赤字となっています。

一方、44年度の上半期の収支状況は、下記グラフのように、收支とも、順調な歩みをつけておりますことをお伝えします。

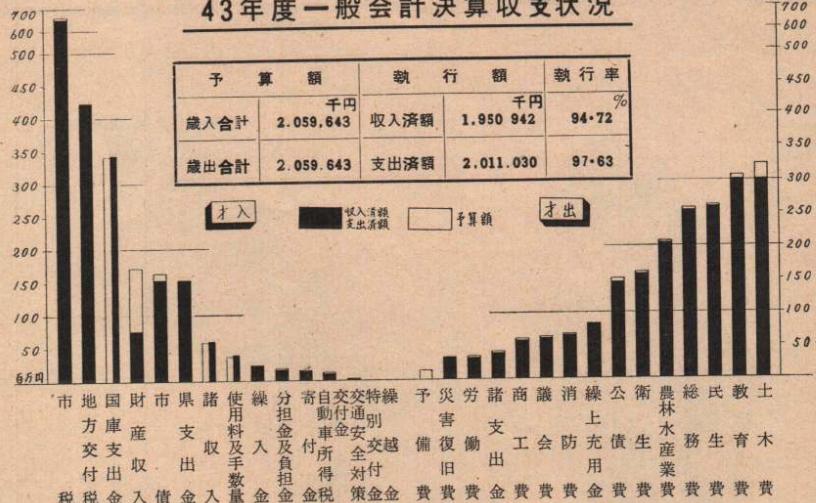
## 43年度市税徵収状況 及び負担状況



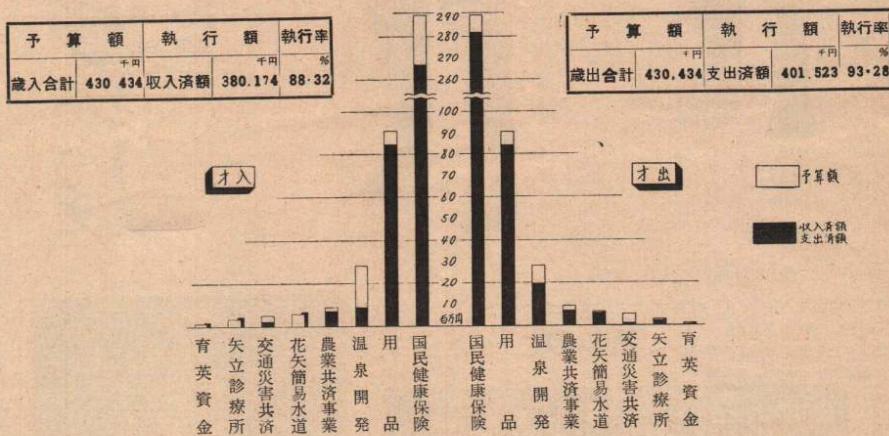
区分	予算額	調定額	収入済額	収入率
市民税	202,374	210,490	201,570	95.76
国定資産税	221,116	230,689	219,848	95.30
軽自動車税	8,537	9,813	8,485	86.47
市町村たばこ消費税	74,083	71,029	71,291	100
電気ガス税	33,776	33,540	33,540	100
鉱産税	102,042	103,359	101,359	100
木材引取税	9,944	7,167	7,037	98.19
入湯税	3,054	3,305	3,249	98.31
その他	6	0	0	0
合計	654,932	669,992	648,117	96.82

## 43年度決算の状況

### 43年度一般会計決算収支状況

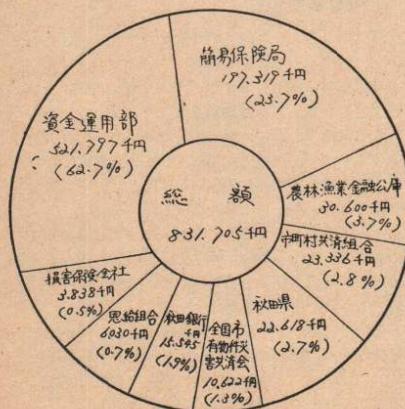


### 43年度特別会計決算収支状況

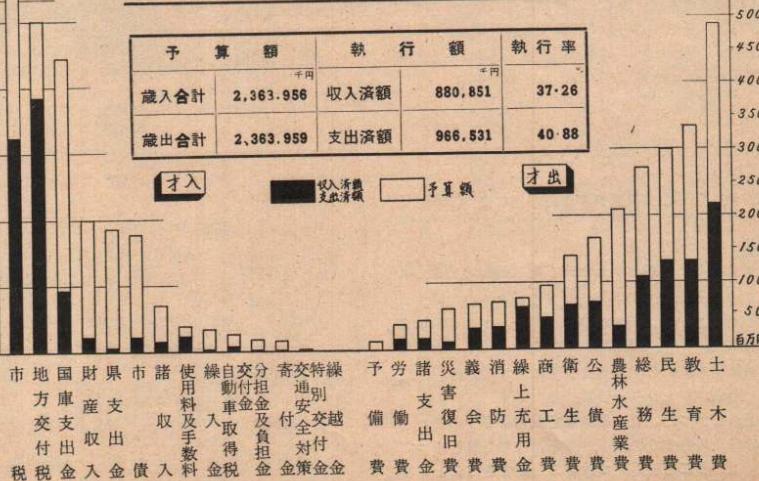


## 44年度上半期の収支状況

### <借入先、別現債高> (44.9.30現在)



### 44年度一般会計9月末現在収支状況



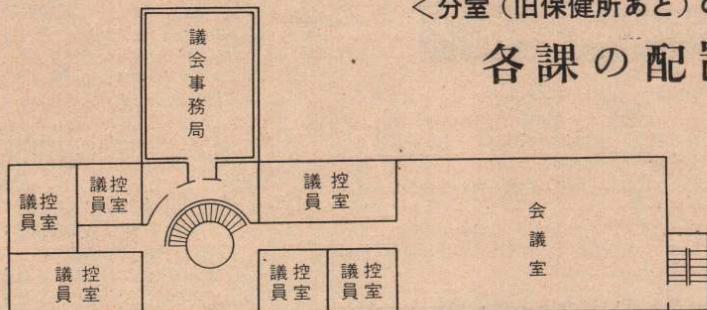


&lt;分室(旧保健所あと)の廃止によって&gt;

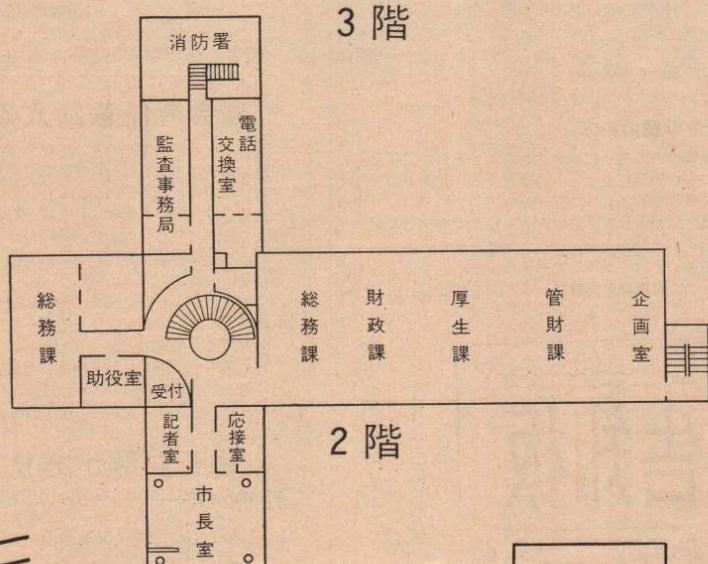
## 各課の配置が変わります

本庁舎が狭いため、42年9月1日から旧保健所あとに分室を設け、建設課、農林課、農業委員会などがここで執務をつづけてきましたが、このほど、本庁裏に新築していた別館が完成したため、12月25日をもって分室を廃止しました。

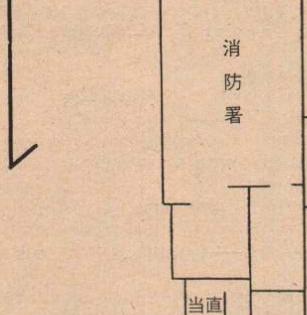
この分室廃止と別館の新築によって、1月4日から各課の配置も図面のよう変わりますし、職員も「居は氣をうつす」ということばのとおり、心一転して市民サービスに努める決心でありますので、少々不便な点もあると思いますが、市民の皆さんも来庁にそなえて、いまからこの配置図面を頭に入れておいてください。



3階



2階

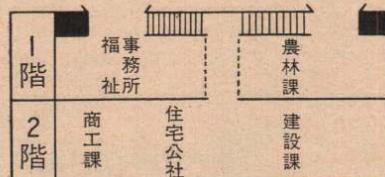


2階

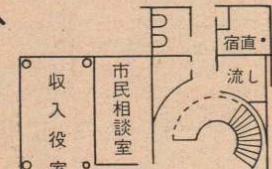


2階

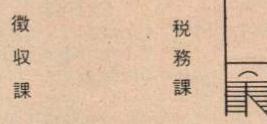
組合会館



新別館



1階

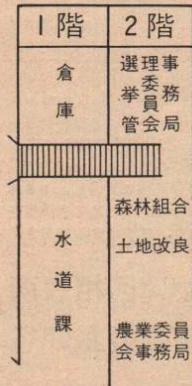


1階

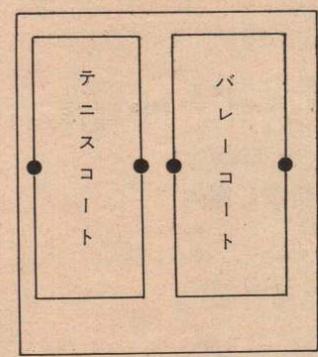


電話(代) 2-1212

別館



至桂城公園



至鳩鳴高

向町

大森屋

秋北バス本社